

報告第7号

令和4年度株式会社おおや振興公社の経営状況について

令和4年度の株式会社おおや振興公社の経営状況は、別冊のとおりである。よって地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、報告する。

令和5年8月31日提出

養父市長 広瀬 栄

令和4年度

経営状況報告

株式会社おおや振興公社

第36期 事業報告書

自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月31日

1 総括

第36期は、あゆ公園の営業を4月23日から開始し、コロナ規制なく営業ができました。

繁忙期の前年比売上は、7月は90%、8月は天候に恵まれ120%、9月は天候と台風の影響があり90%でした。天候に左右されない事業が必要です。

人口河川部門では、特に7月、8月と多くの家族連れのお客様にご来場いただき、駐車場問題等はあるものの楽しんでいただくことができました。前年度までは現金とpaypayだけの決済方法でしたが、今年度よりカード決済を導入し利便性向上を図っています。

レストラン部門に関しては、(公社)養父市シルバー人材センターと業務委託契約を結び、繁忙期のみの営業となりました。

宿泊部門に関しては、宿泊のお客様へアンケートを行いサービスの向上に努めました。

繁忙日の混雑緩和、アフターコロナへの対策として、駐車場増設計画を進めており、第37期夏季の完成を目指しています。

また、地域支援事業として、「とがやま温泉 天女の湯」のラーメン事業(麵屋あき助)を引き続き行いました。

その結果、第36期の売上総合計は54,254千円(前年度47,368千円)で、前年度と比較して、6,886千円(前年度比115%)の増加となっています。

部門別の売上の対前年度比較

(税抜き) (単位:円)

部門	第36期(令和4年度)	第35期(令和3年度)	増減	前年度比
人工河川	27,630,222	23,447,039	4,183,183	118%
レストラン・物産	12,004	101,299	△89,295	12%
宿泊	9,388,910	9,680,976	△292,066	97%
ラーメン事業	14,103,242	11,019,072	3,084,170	128%
その他	3,120,000	3,120,000	0	—
総合計	54,254,378	47,368,386	6,885,992	115%

注) レストラン部門は、(公社)養父市シルバーに業務委託をしているため、売上はありません。

2 個別事業

(1) 人工河川

自然体験が気軽にでき親子で楽しめる人工河川部門は、売上27,630千円(前年度比118%)となりました。前年度と比較して売上が増加した要因は、GW、夏休み期間が前年度に比べ天候がよく十分に営業できた事によります。

業務に関しての変更点は、ニジマスの販売価格の値上げと混雑緩和のため繁忙日料金を新たに設定したことです。売上増加と繁忙日集客の分散化が狙いです。

受付時のアンケート実施により、来場が初めての方が67%、2回目以降が33%という結果となりました。前年度比の割合は、初めての方と2回目以降の割合は横ばいです。同時に「何によりあゆ公園を知りましたか?」とのアンケート結果では、ネット検索44%、情報サイト16%、ともだち13%、SNS12%、キャンプ5%、その他が10%という結果でした。

何度も足を運んでいただける工夫が更に必要です。また、ともだちとSNSを合わせると情報サイトに勝るパーセンテージになります。口コミで広がる輪も大きくなっていますので、お客様自身に広告塔になって頂けるような工夫が必要です。更に私たちもお客様が必要としている情報を素早くキャッチし、より多くの情報を発信するよう努めて参ります。

デイキャンプエリアに関しましては、河原でバーベキューができるよう整備し販売に至りました。食器洗い石鹸などは自然に優しいものを設置し、それ以外は全て持ち込みで利用できるようにしました。新たな試みなので利用者数は少ないですが、これから更に売り込みをかけていきます。

(2) レストラン

業務委託契約を結んでいるレストランに関しては、営業日数35日間、入込数2,068人(前年度比91%)となりました。(公社)養父市シルバー人材センターの方に繁忙期のみですが営業を行って頂きました。これからも協働関係を築きながらお互いにより良くなるよう運営を行って参ります。

(3) 宿泊(ペンション・コテージ)

ペンションに関しては、売上243千円(前年度比30%)となりました。夏休みの合宿のみ営業をしましたが、浴場設備不良のため現在営業できていない状況です。今後に関しては、市と修繕等について協議し営業再開に努めます。

コテージについては、売上9,146千円(前年度比103%)となりました。

BBQができる機材を設置し、お客様の利便性を高めました。

(4) 全体施策

①WEBやSNS等であゆ公園の楽しさを発信し、来場したお客様にもSNS等で情報の拡散をお願いし認知度のUPに努めました。

②施設全体の立ち木の伐採・剪定、施設の清掃美化、アルコール消毒やできる限りの非接触の接客等、衛生面の徹底を図りました。自分たちでできる細かな修繕、看板リニューアルで親しみのある環境づくりに努めました。

(5) その他事業

①自家用有償旅客運送事業

大屋地域全体での「やぶくる」の利用者は122件、142名(前年度213件、261名)です。

そのうち弊社では2件、4名(前年度4件、8名)の方にご利用いただきました。

②地域支援事業

令和2年12月着から始めた「とがやま温泉 天女の湯」内でのラーメン事業（麵屋あき助）の運営を引き続き行っています。

原材料値上げに伴い、価格改定を複数回行いました。

③畑や田んぼを地域の方から貸して頂き、野菜を栽培しました。畑に関しましては（公社）養父市シルバー人材センターの方々と共有していたので、作付面積が1/4程度になりましたが、ピーマンなど川の家で提供することができました。

3 設備等の投資と修繕

(税抜き) (単位:千円)

部門	区分	内容	投資	修繕
共通	共通	ノートパソコン	114	
		ノートパソコン	104	
宿泊	コテージ	2号棟エアコン交換	153	
		6号棟エアコン交換	153	
宿泊	ペンション	漏水修理		121
		漏水配管調査		116
		漏水修理		121
物産	物産	水車給水配管修繕		111
合 計			524	469
総 合 計				993

注) 10万以上の投資経費と修繕費を計上

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 おおや振興公社

令和 5年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 52,620,881】	【流動負債】	【 4,810,200】
現金及び預金	50,134,963	買掛金	448,142
売掛金	1,567,370	未払金	1,644,878
商 品	276,470	未払人件費	815,432
貯 蔵 品	462,679	未払消費税等	1,684,000
未収入金	179,399	預り金	32,748
【固定資産】	【 4,878,659】	未払法人税等	185,000
(有形固定資産)	(4,607,889)	負債の部計	4,810,200
建物附属設備	1,099,064	純資産の部	
構築物	1,171,053	【株主資本】	【 52,689,340】
車両運搬具	588,583	[資本金]	[57,000,000]
工具器具備品	1,399,733	[利益剰余金]	[Δ4,310,660]
一括償却資産	349,456	(その他利益剰余金)	(Δ4,310,660)
(無形固定資産)	(105,760)	繰越利益剰余金	Δ4,310,660
電話加入権	105,760	(うち当期純利益)	(4,586,560)
(投資その他の資産)	(165,010)	純資産の部計	52,689,340
出資金	30,000		
保証金	114,000		
預託金	21,010		
資産の部計	57,499,540	負債・純資産の部計	57,499,540

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 4年 4月 1日

株式会社 おおや振興公社

至 令和 5年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	51,134,378	
受 託 収 入	3,120,000	54,254,378
【売 上 原 価】		
期首商品棚卸高	105,499	
仕 入 高	14,534,937	
合 計	14,640,436	
期末商品棚卸高	276,470	14,363,966
売 上 総 利 益		39,890,412
【販売費及び一般管理費】		38,985,856
営 業 利 益		904,556
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	6,403	
受 取 配 当 金	1,200	
雑 収 入	1,360,401	1,368,004
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	1,000	1,000
経 常 利 益		2,271,560
【特 別 利 益】		
経営安定化積立金取崩額	2,500,000	2,500,000
税引前当期純利益		4,771,560
法人税住民税事業税額		185,000
当 期 純 利 益		4,586,560

個 別 注 記 表

株式会社 おおや振興公社

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券・・・総平均法による原価法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・仕掛品・製品・・・最終仕入原価法による原価法

商品・貯蔵品……………最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

税法に規定する償却期間で償却している。

引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるために、過去の貸倒実績率による繰入率によるほか、債権の内容を検討して計上している。

消費税の会計処理

税抜方式で計上している。

収益及び費用の計上基準

収益については実現主義により、費用については発生主義により計上している。

中小企業会計に関する基本要領

2. 貸借対照表に関する注記

資産に係る減価償却累計額を直接控除した額 10,529,642 円

保証債務、手形遡求債務、重要な係争事件に係る損害賠償義務その他債務の注記

受取手形割引高 0 円

受取手形裏書譲渡高 0 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 1 1 4 0 株

当事業年度末日における自己株式の数 0 株

当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

剰余金の配当のうち、剰余金の配当を受ける者を定めるための法第124条第1項に規定する基準日が当事業年度中のものを含む。)

第34期事業年度の定時株主総会

配当に関する事項

配当財産が金銭の場合

金銭配当の株式の種類別内訳

配当金の総額

1株当たり配当額 0円

基準日

令和 4年 3月31日

4. 1株当たり情報に関する注記

純資産額 46,218円71銭

当期純利益 4,023円29銭